

MK 25 / 2型メンブレントラップ

呼び径 40

取扱説明書

フシマン株式会社

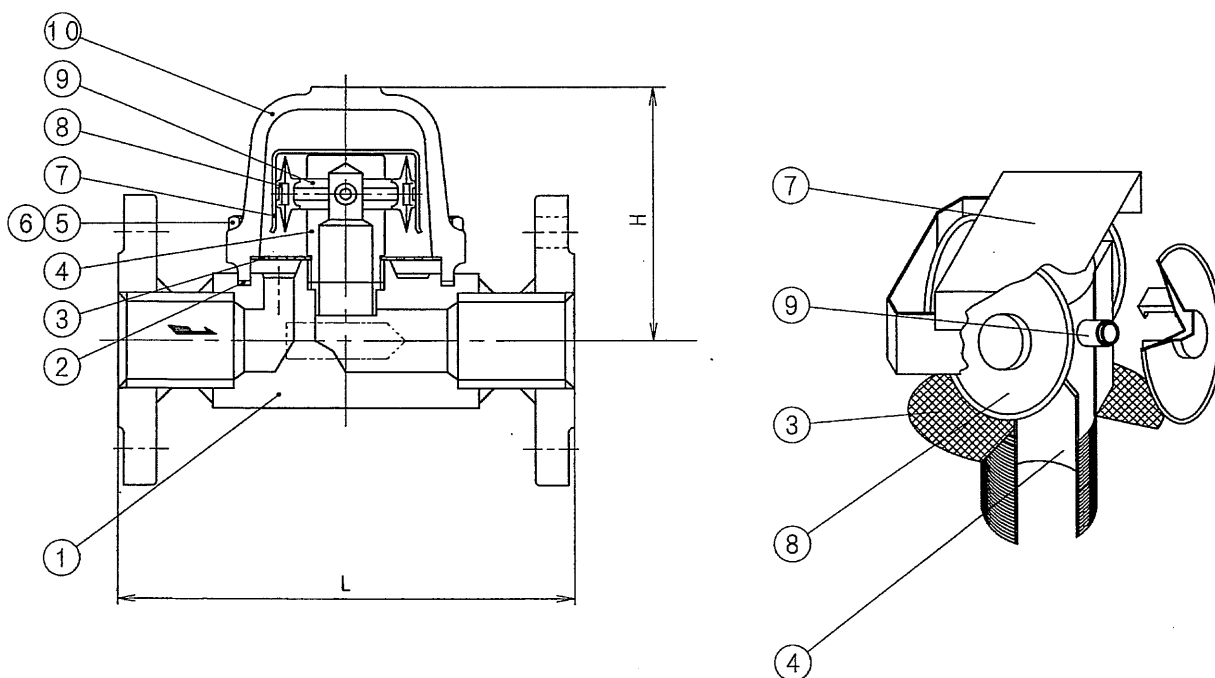
〒140-0011

東京都品川区東大井 2-13-8 ケイヒン東大井ビル 2F

TEL 03-5767-4200 (営業部代表)

FAX 03-5767-4181

1. 構造



主要部品名

部番	部品名	部番	部品名	部番	部品名
1	弁箱	5	六角ボルト	9	弁座
2	ふたガスケット	6	六角ナット	10	ふた
3	こし網	7	メンブレン押え		
4	弁座ホルダー	8	メンブレン		

備考1. ねじ込み形及びソケット溶接形も内部構造は同じです。

2. 各部の締付トルクは下記によってください。

(a) 六角ボルト (5) : 15N・m

(b) 弁座 (9) : 85N・m

2. 取付け

2. 1 弁箱（1）底部の矢印に流れ方向を合わせて配管してください。
2. 2 トラップは、どのような姿勢に取り付けて構いませんが、ふた（10）を取り外すために、ふたの上方に約200mm以上のスペースが必要です。
2. 3 ソケット溶接形のトラップを配管に溶接するときは、電気溶接で行います。熱をかけ過ぎて、ふたガスケット（2）を傷めないよう手早く溶接してください。熱をかけ過ぎると、ふたガスケット（2）を傷めたり、メンブレン（8）が膨張して変形することがありますからご注意ください。弁箱（1）の過熱を防止するため弁箱（1）の溶接部近辺に“クールヒート”を塗布するのも一方法です。
もしできれば、ふた（10）を外して、ふたガスケット（2）とメンブレン（8）を抜き取り、溶接後にふたガスケット（2）とメンブレン（8）を装着するようにすれば一層安全です。溶接後は六角ボルト（5）を均等に増締めしてください。
(各締めトルクは、図1. 備考2を参照してください。)
2. 4 蒸気を初めて通気したときは、数時間後に六角ボルト（5）を均等に増締めしてください。
2. 5 寒冷地においては縦配管に出口を下にしてトラップを取り付け、大気中にドレンを排出するようにすれば配管の凍結を防止できます。

3. 保 守

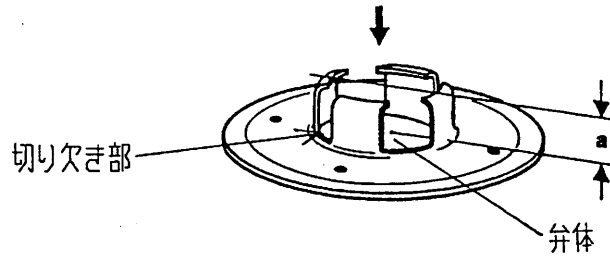
MK25/2型メンブレントラップは、特別な保守を必要とするものではありませんが、こし網（3）のごみによる目詰り等は性能に悪影響を与えますので定期的に内部の清掃を行ってください。

4. 分解・点検

4. 1 蒸気ラインを閉じトラップの作動を停止させます。背圧のある場合はドレンのラインも閉じます。
4. 2 六角ボルト（5）を軽く緩め、トラップ内の圧力を逃がしてから、ふた（10）を取り外します。
4. 3 メンブレン押え（7）を上方に引き抜くと、メンブレン（8）は容易に弁座（9）から外すことができます。
4. 4 メンブレン（8）が破損していないか〔メンブレン（8）が破けると弁は通常閉止状態になります〕弁体に損傷がないかを点検し、必要なら下記の要領で摺り合わせするか、又は新品と交換します。
4. 5 メンブレン（8）の良否の判定は、下記の要領によります。
 - (1) 正常のメンブレン

冷えた状態で、弁体の上面はカプセル切り欠き部の縁よりもっと凹んでいるか、もし突出していても0.5mm以内です。すなわち、図2で $a \geq 4.4\text{mm}$ であれば正常です。棒で軽く矢印の方向に弁体を押ししても弁体は動きません。

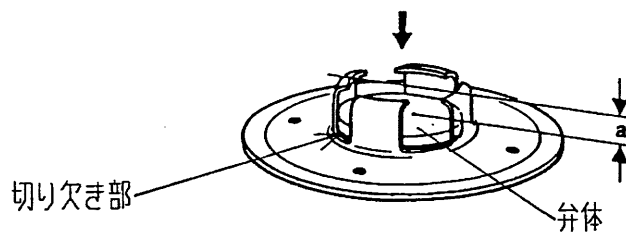
図2 正常のメンブレン



(2) 不良のメンブレン

図3に示すように冷えた状態でも弁体の上面はカプセル切り欠き部の縁よりほとんど一杯に突出しており $a \leq 3.8\text{mm}$ になっています。棒で弁体を押しと弁体がふわふわ動く場合もあり、また強い抵抗がある場合もあります。このときはメンブレンを新品と交換してください。

図3 不良のメンブレン



- 4. 6 弁体に損傷がないか点検し、必要なら摺り合わせをするか、又は新品と交換します。軟鋼材などで図4のような摺り合わせ治具を準備しておきますと弁体の摺り合わせができます。
- 4. 7 弁座(9)の当り面に摩耗や損傷がないか点検し、必要なら摺り合わせをするか又は新品と交換します。軟鋼材などで図5のような摺り合わせ治具を準備しておきますと弁座の摺り合わせができます。

図4 弁体摺り合わせ治具

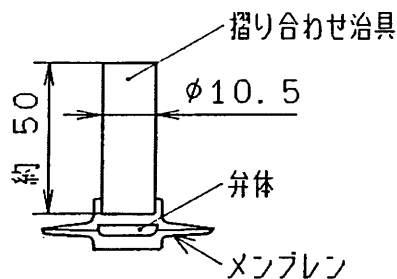
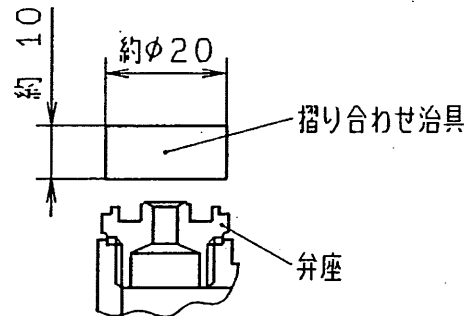


図5 弁座摺り合わせ治具



- 4. 8 弁箱(1)、ふた(10)、こし網(3)をよく清掃してください。こし網(3)を外すには弁座ホルダー(4)を外す必要があります。
- 4. 9 ふたガスケット(2)の損傷の有無を調べ、必要なら新品と交換します。

5. 組立

- 5. 1 弁座ホルダー(4)を取り外した場合は、ねじ部に焼付防止のため適当な塗布剤を使用してください。こし網(3)を入れ忘れないように注意してください。
- 5. 2 弁座(9)にメンブレン(8)を押し込み、メンブレン押え(7)をセットします。
- 5. 3 ふた(10)をかぶせ、六角ボルト(5)のねじ部に焼付防止剤を塗布して均等に締付けます。ふたガスケット(2)を新品と交換したときは、通気後しばらくしてから増締めしてください。

6. メンブレンの種類

MK25/2型メンブレントラップの呼び径40には通常Hメンブレンが装着されています。

メンブレンは、その作動温度の違いにより次の2種類があります。

(1) Hメンブレン：

飽和温度より約1～2℃低い温度で開弁するものです。メンブレンのケース上面に5H2と刻印されているのがこれです。

(2) Nメンブレン：

飽和温度より約2～3℃低い温度で開弁するものです。メンブレンのケース上面に5N2と刻印されているのがこれです。

17. 2. 17			MK25/2型メンブレントラップ	
EN	EN		√	取扱説明書
フシマン株式会社				呼び径 40 H-4B0260a